

科学技術の潮流

(246)

JST研究開発戦略センター

国際頭脳循環とは、

付け国際頭脳循環を加速

推進する研究者も、相

である。

JSTがスタンフォ

ード大学と取り組む「JST-Stanford Initiative」は、日米研究連携促進週間の開催

研究者や学生が国境を

速することを目指して

いる科学技術振興機構

係がなければ、応募の

ベーション基本計画

「JST-Stanford Initiative」は、日米研究連携促進週間の開催

働しながら、新しい技

(JST)の先端国際

共同研究推進事業(A

い。信頼関係で結ばれ

でも、戦略的な国際共

同研究などを通じた国

すことである。しか

SPIRE)は、複数の

コミュニケーションは、

同研究などを通じた国

際頭脳循環の加速がう

究連携促進週間の開催

し、お金をばんと出せ

は国際頭脳循環が加速

されるわけではない。

機関のリーダーや担

だ。しかしこの信頼関

たわれており、国際的

そのスピードやインパ

クトは、重層的につな

がる人と人との信頼関

係に強く依存する。

「コミュニケーション

推進室調査役

例えは、政策上重要

な科学技術分野におい

て、国際共同研究を通

じて研究者同士を結び

科学技術振興機構(JST)

人財部、ダイバーシティ

「コミュニケーション

推進室調査役

早稲田大学大学院理工学研究科修了。同助手、財団法人のプログラ

ムオフィサー(PO)を経て03年に入職。戦略的創造研究推進事業、

研究開発戦略センター、科学コミュニケーションセンター、ワシント

ン事務所などでの業務に従事し24年4月より現職。工学博士。



嶋田 一義

国際頭脳循環

信頼関係土台に

当者の間に信頼関係が係は一朝一夕には生まな人のつながりの強化

の頭脳循環を担うコミ ユニティを育むこと 研究への投資だけでは

なれば始められなかつた。

合い、協働し、寝食を

共にながら少しずつ

育てる投資

また、この事業に参

加して国際共同研究を

積み上げていくもの

信頼関係は、国際共同

第6期科学技術イノ

「JST-Stanford Initiative」

は、日米研究

連携促進週間の開催

国際頭脳循環の土台

たわれており、国際的

ななどを通じて、日米間

の頭脳循環を担うコミ

「関係性を作れば、

あとはついてくる(B

uilding relations, re

stem follows, re

だ。これは特

定の目標達成

のために強い

リーダーシッ

プによって形

成されるコミ

ののだ。

分かりあえないこと

は若干異なっ

ている。こう

したエコシス

テムを生み育

てる継続的な

コミュニケーションが育ち

つつあるか、国際頭脳

循環への投資と並行し

て確認すること忘れ

てはならない。

(金曜日に掲載)

無断転載・複写禁止 (株)日刊工業新聞社



Young Generations
Now, it's your turn...
Please do not waste your gifted talent